



東北小だより

開校57年目

新座市北野3-1-1 TEL 048-471-2022
HP <https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

～学校教育目標～
なかよく元気な子
よく考える子
すすんで働く子

令和7年度1月号
全児童数 786名



未来の自分を変えられる

～ 美しく 温かく 常に前進 東北小学校 ～

校長 斉藤 直之

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。本年も子供たち一人一人がいつも笑顔で、生き生きと活動できる一年となりますよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。

話は変わりますが、私は、日記とまではいきませんが、手帳に簡単なメモを書いています。毎年、手帳をつけていますので、今年で何冊目の手帳になるでしょうか。日付と曜日しか入っていない新しい手帳を書き始める時、「今年はどのような年になるのだろう。」とわくわくしながら考えます。まだ数字しか入っていない白いページを眺めて、これから来る日々を想像してみます。そして、「今年はこんなふうにしたい。」と、ちょっとした目標をもちます。手帳をあつて眺めるのは楽しみでもあるのですが、実は、メモが全部埋まっている年は、今までにありません。その空白の時期は、「きっと忙しかったのだろう。」と、想像するだけです。今年こそ、忙しくても毎日少しでも書き続けたいと思います。

先日、手帳を整理していたところ、数年前のメモが目に入りました。それは、ある中学校の卒業証書授与式に参列した時に聴いた、代表の生徒の言葉でした。

その言葉は、「過去の自分は変えられないけれど、未来の自分を変えられる。」というものです。

その生徒は、目標も見えず、息苦しい日々が続く、学校に行くことができない日々があったそうです。そのときに立ち直るきっかけとなった言葉だそうです。その生徒の言葉の発し方、話している姿に胸を打たれ、たいへん感動しました。

そうなのだ。自分の人生は、自分の心構え一つで変わるのだと。このような短い言葉で、

自分の気持ちの在り方を表現され、その生徒の一言に、ふと自分を振り返ったことを思い出しました。そのときのメモには、「前に進む気持ちが大切!」こう付け加えられていました。私は、年末に、この言葉を改めて見返して、新たな目標をたてるに至った次第です。

さて、一年の中では、目標やめあて、願いをもつ機会がいくつかあります。まず、4月に「今年度はこうしよう。」と思います。次は学期初めに「前学期を踏まえて、今学期はこうしよう。」と思います。そして、年の始まりである1月にも、「今年はどうしよう。」という目標をもつのではないのでしょうか。

学校でたてる1月の目標には、2つの意味合いがあると思います。1つは、「次の学年に向けて、あと3ヶ月で何を頑張っていこうか。」という、めあてです。もう1つは、新年にあたり、少し遠くの大きな目標に向けて、「今年はどうしていこうか。」という目標です。年の初めに、子供たちが少し先の夢や希望をもつことは、これからの将来を考えると、とても大事なことです。その夢や希望があるからこそ、努力を継続していくことができるからです。まだ、少し先の目標が見つけれない児童には、この1月を考えるためのよい機会にしてほしいと思います。

3学期は、まとめの学期といえます。

子供たちにとって、学校生活の一日一日が意味のあるものとなるように、また、一人一人が輝きをもって、自分らしく生活し、未来を変えていくことができるよう、3学期の教育活動をしっかりとしていきたい。そう考えています。

東北小学校は、「美しく 温かく 常に前進」です。今年も歩みを止めることなく、前進する気持ちを大切に、子供たちの未来を明るく変えられるよう、努めてまいります。

今年もよろしくお願いいたします。